

祝 第60回技能五輪全国大会 「電子機器組立て」職種 敢闘賞 受賞

応用課程生産電子情報システム技術科1年
二宮 拓務選手が「電子機器組立て」職種で
敢闘賞を受賞しました！

「電子機器組立て」職種で学生選手が
入賞することは、技能五輪全国大会
始まって以来、初めての快挙です！



< 第60回技能五輪全国大会 「電子機器組立て」職種 競技会場にて >



写真右から

応用課程 生産電子情報システム技術科1年

二宮 拓務 選手

専門課程 電子情報技術科1年

永田 享士 選手

応用課程 生産電子情報システム技術科1年

蒔田 光生 選手

競技Ⅰに取り組む二宮選手
全選手中 1 1 位(敢闘賞)
学生選手 1 位

この競技では、初となる学生での敢闘賞を獲得しました。すべての競技において企業選手に引けを取らない成績でした。



競技Ⅲに取り組む蒔田選手
全選手中 3 1 位
学生選手 4 位

日頃からの訓練を積み重ねた結果、大会ではバランス良く点数を重ね、昨年度の成績から4位も順位を上げることができました。



競技Ⅱに取り組む永田選手
全選手中 3 9 位
学生選手 9 位

永田選手は技能五輪にチャレンジするために当校に進学。
回路図作成スキルで高得点を獲得し、最後まで一所懸命に持てる力を出し切りました。



第 60 回技能五輪全国大会「電子機器組立て」職種の競技が、令和 4 年 11 月 4 日(金)～6 日(日)に幕張メッセで行われました。48 名の出場者の中で学校所属の選手は 15 名でした。

初日に実施された競技Ⅲは、当日公開の C 言語によるマイコンのプログラミング、2 日目に実施される競技Ⅰでは、電子装置の回路設計、その回路の CAD による回路図作成とプリント基板設計、ユニバーサル基板への配線のスキルで競われました。3 日目に実施された競技Ⅱでは、当日公開で提供される電子装置のハードウェアの修理、C 言語プログラムの修復、測定のスキルで競われました。

このように「電子機器組立て」職種は、電子系エンジニアとしての総合的なスキルで勝負する競技会です。次年度の全国大会へ向け、さらなるスキルアップを目指して、当校の選手達はこれからトレーニングに打ち込んでゆきます。

「県の代表として大会のフィールドに立ち、自身の技能と技術力で学生トップを目指したい。」「技術力で勝負する大会にチャレンジしてスキルを伸ばしたい。」と思う方は是非当校への進学をご検討ください。



全国の同世代の若者と、電気・電子系の知識・
技能・技術で勝負しませんか？